



求菩提資料館 館長 栗焼 憲児さん

京築の文化財で地域づくり

栗焼さんは、京築地域に息づく修驗道や神楽の魅力を生かした地域づくりのスペシャリストです。そんな栗焼さんの活動の原点は、高校時代に豊前市の黒部古墳群の発掘に携わり、線刻壁画に出会い感動したこと。さらに大学でも考古学を学び中津市や豊前市教育委員会文化財担当として地域の宝を発掘し発信。豊前市役所総合政策課勤務となつてからは、京築連帯アメニティ都市圏推進会議の行政担当者として、豊前市ばかりでなく京築全体の文化発信に尽力しました。栗焼さんが大切にしていることは市民協働。その一つとして今年で10年、第40号を迎える「応援団便り」の編集会議にも、行政職員として第1号~7号まで積極的に参加。文化財の知識や内容についてのアドバイスだけでなく、市民編集委員と行政職員が情報を集め共有し、制作する協働スタイルが生まれるきっかけづくりも牽引しました。

栗焼さんの文化財に携わる専門家としての大きな仕事は、数々の文化財指定にむけた取組みです。「地域にとって何が大事か、何をしなければいけないのか、ずっと残していく文化財は何か」と評価した結果、平成13年(2001)に求菩提山は全国に先駆け修験の山として一山全体が国の史跡に指定されました。さらに求菩提の山を支える集落は、中・近世の農村景観を今に伝える空間であり、平成24年(2012)には「求菩提の農村景観」として国の重要文化的景観に選定。また山伏たちが関わっていたとされる「豊前神楽」も、平成28年(2016)に国の重要無形民俗文化財に指定され今後の伝承に一定の道筋を示すことができました。「こうした指定の手続きは多くの時間が必要ですが、唯一私たちにできる伝承へのお手伝いです。文化財を守るには市民と行政の両輪があってこそ。守ってきたものを次世代に伝えるのは地域の人たち。その努力は大変なものです。」と繰り返し語ってくださいました。求菩提資料館館長としてさらなる活動の広がりに乞うご期待です。

(レポーター/ヒメジャガ・トヨヒメ)



話題のお店

Keichiku Gourmet
ボタニカルカフェ
BambiNa
(バンビーナ)



植物のエネルギーを感じる 癒しの空間

行橋ICから車で2分、ゆくはし植物園に併設するBambiNa(バンビーナ)は、植物のエネルギーを身近に感じながらランチやカフェができるオアシスです。

*週替わりランチプレート…1,000円
*パンケーキ ……950円
*飲み物 ……+200円
(いずれも税別)
(レポーター/若草物語)



Shop Information

[住] 行橋市上津熊221
[電] 0930-55-6630 [P] 有り
[営] 11:00~16:00 L.O. [休] 水



編集後記

記念すべき第40号より編集に携わらせていただくこととなりました。「豊のくにけいちく」を通して市町の魅力を発信していくよう頑張ります。今号では京築の大きな魅力の一つである神楽を取り上げ、節目にふさわしいものになりました。(レポーター/おまる)

京築応援団便り 豊のくにけいちく

「京築応援団」団員募集中!(入会無料)

京築を応援するファンクラブに入りませんか?
お申し込みは「京築まるごとナビ」から



発行:京築連帯アメニティ都市圏推進会議 事務局(福岡県広域地域振興課内)
企画編集:京築応援団会報編集委員会、豊の国海幸山幸ネット

問い合わせ:福岡県広域地域振興課/〒812-8577 福岡市博多区東公園7番7号
TEL.092-643-3178 / FAX.092-643-3164 / E-mail.koiki@pref.fukuoka.lg.jp



けいちく検定 ● 神楽編

神楽クイズ



〔問1〕 豊漁の神が
ユーモラスに舞う
演目なうんだ?



〔問2〕 スサノオノミコトが
出雲で大活躍する
演目なうんだ?



〔問3〕 四方を清め
神を招く式神樂の
演目なうんだ?



〔問4〕 剣を使って
邪気を払う
演目なうんだ?



〔問5〕 天と地の融合、
五行の循環を祈る
演目なうんだ?



〔問6〕 最後に岩戸を開いた
この神さまの
名前なうんだ?



〔問7〕 五穀豊穣の舞
お盆の上に乗っている
ものはなうんだ?

京築応援団便り
豊のくにけいちく

Toyonokuni Keichiku.2020 October
©IZUMI HARAGA

心をひとつに
秋の京築

明日に
エールを!
神舞い祈る

京築地域の皆さん
が楽しみにし
ている事といえ
ば、「京築神樂」。
しかし、このコロナ禍で、京築神樂の
神社奉納や公演はストップして
います。

そこで今回の特集では神樂講の
皆さんの近況や疫病退散への想い
をお聞きしました。

取材してみると、どの神樂講もし
ばらくは活動を自粛していたよう
ですが、舞の基本を見直すなど少し
ずつ練習を再開しているようです。

奉納神樂とは、人々の願いを込め
て神へと祈るもの。五穀豊穣、無病
息災、疫病退散などの願いの結晶で
す。つらい状況を乗り越え舞を届け
ようとしている神樂講の皆さん
の熱い想いをお届けします。

祈りや願いを舞に込めて

おおむらみけかどくろつち
大村・三毛門・黒土神樂 ● 豊前市

7月、ようやく子ども神樂の練習が再開しました。奉納の無い
中で基本的に立ち返り、昔の舞を見直し勉強したり、ジョギングなど
で体力向上に努めています。こういう時だからこそ、神樂本来
の意味をもう一度考え直さなければと思いました。神樂のすべて
に五穀豊穣・無病息災の意味がありますので、神樂を奉納する
ことが[疫病退散]の願いとなります。その中でも天と地の融合
「湯立神樂」や邪気・悪魔・罪・穢れなどを切り祓う「剣系神樂」、厳
かな「式神樂」にも疫病の退散祈願・五穀成就・無病息災への願い
が込められています。皆様の祈りや願いが叶うよう舞や心構え
を見直し、精進していきます。

(レポーター/ヒメジャガ)



祈りの舞

神楽の伝統を継承

今井神楽 ● 行橋市

今井神楽では、4月に予定していた地元の熊野神社の奉納が中止となり、稽古も様子を見ながら断続的に行っていましたが、8月は完全自粛としました。しかし今年一番の喜びは小学生男女5人が、神社で奉納神楽を見て興味を持ち神楽講に参加してくれたことです。講長自ら舞の基本である礼儀作法や挨拶を指導しています。神楽は本来、五穀豊穣、疫病退散を祈願して奉納されるものです。将来神楽の伝統を受け継ぐ子どもたちと希望をもって進んで行きたい…これが今井神楽のモットーです。

(レポーター/いちじく・トヨヒメ)



奉納に向けて日々精進

横瀬・上伊良原・光富・上高屋・鎧畠神楽 ● みやこ町

みやこ町には、5つの神楽団体があり、いずれも春の祭りで奉納されています。今年はコロナ禍で早々に奉納中止となり、各神楽団体は集中稽古もできませんでした。今回のコロナウイルスの収束はまだ見えてきませんが、一人ひとりができる稽古を重ね、来たら奉納に向けて精進しています。古来より人々は様々な厄難から逃れ、五穀豊穣と生命の再生を祈り、神楽を奉納してきました。このような神楽の中で疫病退散などを色濃く表しているのは、式神楽ではないでしょうか。壱番神楽・手絵神樂・駆仙神楽・弓征護神楽・地割神楽・岩戸開などが挙げられます。

(レポーター/とらバアバ)

お囃子や歓声の聞ける日を

櫻原神楽 ● 築上町

築上町にある7団体は、練習再開に向け、密にならない取組みを考え準備を行っています。その中の1つ櫻原神楽講では、寒田神楽講と岩戸見神社岩戸神楽伝法寺保存会と合同で奉納を計画。その際、寒田神楽講に湯立神楽を教えてもらうために、講長自ら体重を減らし、柱に登れる体づくりで備えているとのこと。

町内の秋の奉納については未定ですが、また、地元の神社でお囃子や歓声を聞くことができるよう頑っています。

(レポーター/うめといと)



明日にエールを! 神舞い祈る

結の心で悪疫退散!

みなばる
南原神楽 ● 菊田町

自粛期間中は家で自主練習に励んでいましたが、7月からは日頃できなかった新しい演目の研鑽に努めています。久々に練習に参加していた子どもたちは「神楽の練習は難しいけれど楽しい。地域の文化を守る気持ちで臨んでいる」と嬉しそう。南原神楽では「反間(足踏みによるお祓い)」と呼ばれる悪疫退散の舞があります。神楽は結の心が原点。みんなで助け合い、一体となって苦難の時期を乗り越えようと頑張っています。

(レポーター/ノウサギ)



疫病退散

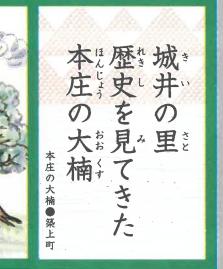
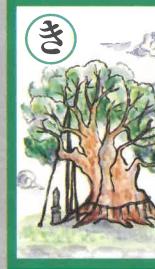
ふるさとミュージアム
経験と神楽とエコロジー

県道237号線(宇都宮街道)を城井川に沿って南に向かうと、伝法寺庄を過ぎ、支流(中川内川)に架かる龍神橋を渡ります。大楠神社の境内に鎮座している「本庄の大楠」は、大正11年(1922)3月8日、国指定となつた天然記念物です。神社に伝わる古文書「大楠宮小楠宮社記」(元禄12年(1699))によれば景行天皇が造営する時に、南三里のこの地に戦勝祈願に植えたと伝えられ、樹齢1900年余り、幹周約21メートル、注連縄で奉安されています。

明治34年(1901)、木芯部の空洞で火災が起り、主幹を大きく焼失しましたが、奇跡的に第一枝よりよみがえり今の姿になるまで成長しました。宇佐八幡宮の神殿は元慶4年(880)、

太政官符によって30年に一度の式年遷宮(建替え)が決まり、「之殿(祭神・応神天皇)の用材を切り出す相山に築城郡伝法寺村(本庄)が選ばれ、造営開始の前には御社始祭(おはじまつり)がここで大楠のもとで行われました。祭典では手斧(てのこ)始(はじ)めの儀や奉楽に合わせた。蘭陵王の舞楽が行なわれたということです。鎌倉時代には、宇都宮の武士たちがこの大楠の周りで暮らしがてを営み、黒田との戦いの後では、時が止まつたように静かな城井谷で催されるようになつた大楠コンサートやもみじウォーク。時代の移り変わりを見てきた大楠は平成21年(2009)度から6年間、文化庁の補助を受けて樹勢回復事業が行われ、未来に命を繋いでいます。今年は新型コロナウイルスの影響で様々な行事は中止となっていますが、また大楠の周りで集う喜びを分かち合いたいものです。

(レポーター/mulberry)



神楽の里を思い舞う

とうばる
唐原神楽 ● 上毛町

緊急事態宣言の解除後、子ども神楽の練習を再開。初心にかえり、舞の基本的な所作や細かい部分に時間をかけています。子どもたちは、お囃子の練習も始め、なれない太鼓のバチやチャンカラに悪戦苦闘中です。疫病退散に願いを込めた演目といえば、「大蛇退治」です。スサノオが、悪である大蛇を退治するこの演目を舞うときは地域や氏子の皆様に災害が降り掛からぬよう、一生懸命奉納させてもらっています。秋の奉納が無事行われ、コロナウイルスが一日でも早く収束し安心して生活できるよう願っています。

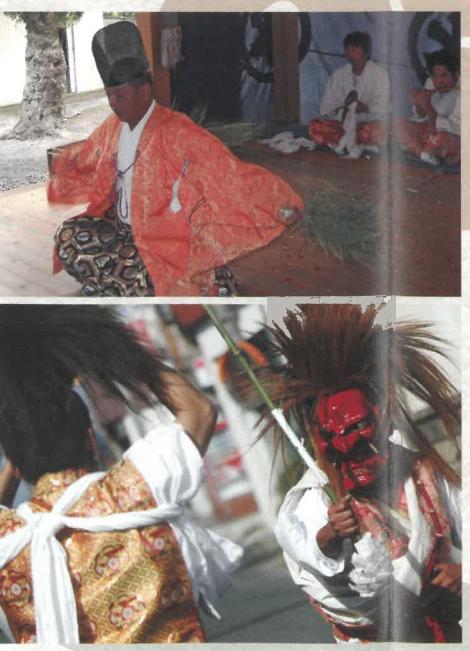
(レポーター/ギヨン)



心ひとつに神を舞う

よしどみ
吉富神楽 ● 吉富町

予定していた公演が延期、中止となり、モチベーションを保つことが難しい面もありますが、いつもと変わらない雰囲気で取組んでいます。8月は3密や熱中症を避けるため稽古などは休止にし、いつ再開となつてもいいように9月からまた稽古に励んでいます。



疫病退散を願う神楽と言えば「剣舞」「四人剣」です。両手にそれぞれ刀を持ち、くるくると勢いよく回しながら舞います。2本の刀を十字に咥えて回転したり、交互に行き交ったりと怪我をする可能性もある危険な舞ですが、激しさの中に優雅な見られる神楽です。また皆さんとお会いできる日を楽しみにしております。

(レポーター/ハンカチ)

応援団ひば

神楽カード【第2弾】&オリジナル御朱印帳の紹介

●「京築神楽カード」を集めよう!

このたび、神楽カード「第2弾」を制作しました。京築地域で行われる奉納神楽では、鑑賞いただいた方に、先着で「神楽カード」を配付しております。

神楽カードは全30種!ぜひ、京築地域の奉納神楽を巡り、神楽カードを集めてみてください。

●「京築神楽オリジナル御朱印帳」販売!

昨年度の京築神楽オリジナル特典景品プレゼント企画でしか手に入らなかつた御朱印帳!!好評につき、一般販売を行います。

(レポーター/かねやん)

詳しくは京築まるごとナビで!

(<https://www.keichiku.info/index.php>)



読者プレゼント

京築応援団会報誌第40号発行記念!!

京築神楽グッズプレゼント

京築神楽グッズ【①オリジナル御朱印帳②カードフォルダ③シークレット(届いてからのお楽しみ)】を応募者のの中から抽選で5名の方にプレゼントします。

プレゼントの応募方法(応募締め切り/令和2年10月30日(金)必着)

郵便ハガキに郵便番号・住所・氏名・年齢・連絡先(電話番号)・京築応援団会報誌「豊のくに けいちく」のご感想やご要望、取り上げてほしいテーマなどを明記のうえ、下記の宛先にご応募ください。当選者の発表はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。

●申し込み・問い合わせ先

〒812-8577 京築連帯アメティ都市圏推進会議事務局(福岡県広域地域振興課内)

「京築神楽グッズ」プレゼント係 [☎] 092-643-3178

京築民話の ふるやじい瓦版

むかしから垂水ん村あたりはの、大そう開けたところやつた。

大きなお寺や瓦を焼く窯もあって、奈良の都から役人も来てまつり」とするような宣伝もあつたんぢや。

ほやけど人が往来すれば疫病がはやるそじで疫病を治めるために、播磨国から牛頭天王ち呼ばれ

ばれちよる疫病封じの神様を垂水の寺に迎え祀つたつち。

いつときたて大きなお寺がねえなると、山国川と友枝川がぶつかる丘ん上

に「瀧ノ宮牛頭天王」の社を建て、村んもんは

「ゴシ天王、ゴシ天王」ち呼んで崇めたんぢや。

「ゴシ天王」には毎年旧暦の6月7・8日に「トベラ祭り」ちゅうお祭りがあつてのう。ト

ベラは、白りい花を咲かせ赤けえ実のな木で、葉っぱから出る汁が臭いこから、扉間に挟むと疫病にかかるんじつなるっちゅうち、トベラをもらひに上毛や下毛ん衆がいっぺんづけお参りに來たんよ。

龍の日に五寸釘

八坂神社「瀧ノ宮牛頭天王」・上毛町垂水

令和2年(2020)、春先から始まつたコロナ禍は世界全土を覆い、まだ静まる気配を見せません。のどかな山野・川に囲まれた京築の至る所に疫病に苦しみ、祈りを捧げてきた人々の足跡が見えてきます。

今回は奈良時代から疫病退散の祈りの場として信仰されてきた築上郡上毛町垂水にある「八坂神社」と「瀧ノ宮牛頭天王」に伝わる民話を紹介しましょう。

トベラ祭りの楽しみはなんちゅう

てん牛替え行事。富くじを引いたら1本だけ子牛が当たるクジがあつて

お百姓にとって牛は、なくてはならない大切な生き物やつたき、村ん衆はがって引いたもんやつた。

「ゴシ天王」ん周りは松林で、草木が生茂る深い藪やつた。そんな下には山国川が流れ、龍の淵つち呼ばれる深い淵があつてのう。淵に降りる細い曲がりくねつた山道を通り、淵に遊びに行つた子どもが帰らん」と何度もあつち、みんな淵に住む龍のしわざに違ひないと思うよつた。

おまけに「ゴシ天王」ん本殿の欄間に彫つてある龍が夜な夜な抜け出して淵に降り、山国川で水をのんじよるのを見たつちいうもんまで現れた。

おまけに「ゴシ天王」ち呼んで暮らせちよる自然の堤に守られて暮らせちよる。村では今でも、「ゴシ天王」ん龍の彫りもんを大切に飾り、「トベラ祭り」ん日にはオロチの神楽を奉納しよつた。

なつたけんと、淵に降りる道はまたボーボーの數になつてしまつたつち。幸い垂水ん村は「ゴシ天王」のあ

釘を打ち付けて潰したんぢよ。そん日から龍はもう出歩かん」と

ちゅうう」とになり、村の若者が五寸

天王」ち呼んで暮らせちよる。村では今でも、「ゴシ天王」ん龍の彫りもんを大切に飾り、「トベラ祭り」ん日にはオロチの神楽を奉納しよつた。

長老たちは談義した。

「トベラ祭りや大事じや、村に禍のあるかもしれん」

「神様なら何んでしまつてもううが、彫りもんの龍の動きを止めるんは、どげしたら良いもんか」「五寸釘で龍の日をつぶすしかなかろう」

ちゅうう」とになり、村の若者が五寸釘を打ち付けて潰したんぢよ。そん日から龍はもう出歩かん」と

ちゅうう」とになり、村の若者が五寸釘を打ち付けて潰したんぢよ。そん日から龍はもう出歩かん」と

ちゅうう」とになり、村の若者が五寸釘を打ち付けて潰したんぢよ。そん日から龍はもう出歩かん」と



水工事であり、そのことが民話によつて推測できるのではないか」とお話していくださいました。

八坂神社のそばには昔から堰があり、近年山国川の治水と利水のために平成大堰が作られています。地球温暖化により毎年のように日本全国を襲つてくる水害に加えて、令和2年(2020)の新型コロナウイルスによる疫病感染など古来より人は幾たびもこのような苦難を乗り越えてきました。京築の身近な風景と民話の中に、学ぶことができるのではないかでしょうか。八坂神社の拝殿に飾られている阿吽の龍の彫り物に会い、「トベラ祭り」で厄除のトベラをもらひに「ゴシ天王」を訪ねてみてはいかがでしょうか。

※蘇民将来 日本各地に伝わる説話、およびそれを起源とする民間信仰のこと。

●参考文献 『新吉富村誌』『福岡県名所図録図絵』



築上郡上毛町垂水648番地

1にある八坂神社は、江戸時代までは「瀧ノ宮牛頭天王」と呼ばれていきました。この神社は、山国川と友枝川が合流する場所の山国川の西側、南から延びる丘陵上の北端にあります。『新吉富村誌』によると奈良時代、養老年中(717~724)に、この地に疫病が流行したため、播磨国より疫病鎮守のために垂水廃寺と推定される仏寺に勧請し、寺の守護神にしたのが始まりで、後に風光明媚な現在の場所に移されたようです。ところが、慶応4年(1868)の神仏判然令により、神社で仏教用語を使用することが禁止され八坂神社と改称され、今日に至つては、疫病を退散してくれる「牛頭天王」とはどんな神様なのでしょうか?

牛頭天王とは、日本独自の神仏習合の神様で、インドの祇園精舎の守護神であり、蘇民将来の説話では、武塔天神、またスサノオや薬師如来の化身であると謂められた荒ぶる神様です。それゆえ水害や疫病など人々が恐れていた災禍を防ぐ力を持つと考えられていました。